

2年 阿南 暖

一日目は1回戦、2回戦は調子がよかったけど、3回戦は少し疲れが出てしまい、思うように体が動かさなかった。3回戦の相手チームは守備がうまく、なかなか点をとることができず、負けてしまった。悔しくて明日は絶対勝とうと思った。練習試合の時は勝っていたのにこんなにも差が開いてしまってとても悔しかった。二日目の試合では身長が高い選手が打ってくるだけだったけど、サーブがよく、追いつかれそうになることが何度もあった。しかし、徐々に相手の打つコースが見えるようになりうまく対応できた。もう一つのチームは一度も勝ったことのなかったので、一番対戦したくなかったけど、思い切って楽しむことができた。2セット目をとられたときは「やばい」と思った。3セット目に入ったとき点差が離されてしまい、スパイクもなかなか決まらなかった。それでも粘って粘ってみんなで勝つことができた。応援に来てくれた従姉妹が泣いてて、頑張ってたよなと思った。

2年 押方実柚

今回の試合では学ぶことがたくさんありました。一日目は鹿児島県のチームと戦って、足を動かして前のボールを拾いにいったり、ブロックを決めたりすることができてとてもうれしかったです。初めて戦うチームだったけど、どこに何枚ブロックがつくのかみんなで話し合いながら、プレイすることができました。3試合目では、バテてしまい足が動かなくなって、レシーブが上がらなくなりました。負けている時こそ、声かけが大事だし、雰囲気をつくるのが大切だと思いました。二日目は2位グループで、最初は身長の高いスパイカーがいるチームと戦って、バックアタックなどをはじめてしまう時がありましたが、サーブで点を取り返しました。第2試合の1セット目、サーブカットは上がっていたけど、サーブでねらうことができませんでした。前のボールも見合いをしてしまうなどミスもありましたが、それでもフライングをしてボールを拾いにいきました。2セット目ではサーブでねられ焦ってしまったけど、みんながフォローしてくれました。3セット目では絶対ボールを落とさない気持ちでスパイクを拾いにいき、強打をとることができました。みんなが心を一つにボールを落とさない気持ちがあったから勝てたと思うし、保護者の応援などのおかげもあるので感謝したいです。今回一番学んだことはどんな相手でも、みんなが心を一つにボールをつなげば勝てるということです。これからたくさんの人に感謝していきたいです。

2年 安在優姫

私は今回の鹿児島・宮崎の大会を通して、学んだことがたくさんあります。一つ目は技術の違いです。ジャンプをする前、ジャンプをした時、相手チームは私たちのコートをよく見ていました。私はこれからジャンプをした時、ボールとの距離を保ちながら相手コートを見る練習をしていきたいと思いました。二つ目はチームワークです。大会の二日目に鹿児島県のチームと対戦しました。そのチームのキャプテンは常にまわりの人に声かけをして失敗した選手にも一番に駆けつけて励ましていました。失敗したときこそ、励ましてあげるということを真似して、いい雰囲気にしていこうと思いました。他にも礼儀のことやプレイ面のことなどたくさん学べました。今回勝てたのは私たちの力だけでなく、配車してくれた保護者の方や学校の先生方、顧問の先生、教頭先生のおかげです。この感謝の

気持ちを忘れず、残り少ないバレーの試合で頑張って結果を残したいと思います。

2年 甲斐美心華

キャプテンとしてプレイや声で引っ張っていくことはもちろん、挨拶やその他の礼儀などみんなに意識させて自分も完璧にし、試合に臨みました。ホテルや会場などで高千穂中学校として見られるので特に意識して過ごしました。試合では、フィジカル面で勝てない相手とどう戦うかを考え、フェイントやサーブなどを工夫して戦いました。どんなボールでも打ち切る!!「攻撃の最後の砦」としてレフトポジションで打ち切りました。重圧はすごかったですが、最後を託され心も成長することができました。いつもはできない鹿児島のチームと対戦し、粘りがすごくて学ぶことがたくさんありました。1点1点の重みを実感して日頃の練習の質を大切に、もっと上を目指したいです。今回体力が最後までたえず、初日の三試合目では疲れ切っていたので、体力も向上させて最後まで戦いきるようになりたいです。鹿宮対県に出場するまでに送迎・応援してくれた家族、支援・協力をしてくださった地域、学校の先生方に感謝をして、もっと上を目指して努力を怠らず、取り組んでいきます。

2年 甲斐優愛

私は、スパイクを打つことができないので、レシーブを上げるしかなかったけれど、サーブレシーブが悪く、セッターを動かすことが多くなってしまったので、そこを課題としてまた練習を重ねていきたいです。鹿児島のチームは強くて、勉強になることもたくさんありました。今回の大会で学びがたくさんあったので、その学んだことを自分のプレイに生かしていきたいなと思います。また、私が感じたのは「私たちも強くなっている」ということです。5・6位決定戦をフルセットで勝つことができたのは、2セットで負けることが多かった私たちからすると、強くなったことを実感できたし、相手も2セット目から修正してきていたので、やっぱり上手なチームだなと思いました。これからは追われる側のチームになるので、それにふさわしいようなチームになれるよう、日々の練習から何事にも取り組んでいきたいです。練習だけでなく日常生活でも真面目に過ごしていつでも全力プレイでバレーをしたいと思います。

2年 霜見瑛怜奈

私はこの鹿宮大会をとおして多くのことを学びました。特にメンタル面での学びが多かったと思います。私はサーブからの出場しかありませんでした。三本中一本、サーブミスをしてしまいました。他のチームを見ているとサーブをただ入れるだけでなく「決めてやる」「レシーブをくずしてやる」というような強気なサーブばかりでした。私には身長もパワーも周り比べると劣っていると日々感じています。ですが、私は気持ちですら負けていたなと痛感しました。まずは「自信」をもつことが大切だと思いました。「自信」をもつには「質のいい練習」をすること、そのためには常に「試合を意識」することが大切だということに気付くことができました。自分の短所は長所でカバーして成長したいと思います。

2年 伊藤恵菜

私はセッターをしています。一日目は鹿児島のチームと戦い、自分たちより順位が上であることや戦ったことがないということにすごく緊張しました。今回の大会は審判がとてもし厳しく「ヘルドボール」や「ダブルコンタクト」等で何点かとられてしまいました。だ

けど、それでもメンタルをやられず強い心で戦い抜くことができました。二日目は2位グループで、初戦のチームは身長が174cmの大エースがいるチームでした。拾えるボールをとにかく落とさないように自分たちの攻撃につないでいくことができました。2回戦はこれまで何回も対戦し、JA杯でも負けたチームでした。三度目の正直ということで、「絶対リベンジする」という気持ちで戦いました。デュースがとて多く、しかもデュースでは常にリードされる状況でした。しかし、私たちは最近追い込まれた状況から勝ち抜くための練習を重ねてきました。教頭先生や顧問の先生から「ミスした方が負け」という言葉を胸に最後の最後までボールに食らいつき勝利にもっていきことができました。リベンジを果たした瞬間は今までにないくらいうれしかったです。私たちには高さがありません。これからさらに上位になるためには粘り強くボールを拾い、いろいろな攻撃パターンで自分たちの力が最大限発揮できるよう、残りの5か月間、全力で頑張っていきたいです。そして、今大会に協力していただいた、保護者、先生、地域の方々に感謝し、6・7月の中総体でさらに良い報告ができるように頑張ります。

2年 新名陽花莉

試合では自分より格上の相手に対して自分のバレーをすることができた。笑顔で試合に挑むことができ、特にこれまで一度も勝つことができなかったチームとの対戦は楽しかった。また、最後まで諦めずにボールを追って拾おうとすることができた。でも、初日の3試合目は自分たちのプレイが発揮できていなくて暗い雰囲気のままプレイすることになり、自分たちの実力を全然発揮できなかったのも、悔しいと思った。私がこの二日間で頑張ったのはブロックで、2日目は二試合ともきちんと相手のセッターやレシーブの位置を見てブロックをすることができた。うれしかったのは普段なら多分拾うことができなかったであろうフェイントやスパイクレシーブを上げることができたことである。また、フェイントも二回連続ブロックできてうれしかった。格上のチームの試合とかを見たり、対戦したりすることでまだまだ、私たちはできるということが分かった。これからは雰囲気を明るくして、常に自分たちのペースでできるようなバレーをしていきたいと思った。また、反対に雰囲気が良く、自分たちのそれぞれの仕事をしっかりしたら、もっと実力を発揮することができたので、雰囲気づくりも大事なことだということが改めて分かった。その他、ブロックのコースがしっかり閉まっていたので、その分レシーバーとの連携がとりやすかったと思うし、セッターがブロックにいけないときのフェイントを拾ったり、ブロックカバーをしたり、ブロックをしないなら、しっかりとフェイントカバーなどにはいかないといけないということが分かった。大事な場面でのサーブは強い相手だと守りにいき過ぎてもチャンスボールになって、その後決められるので、大事な場面こそ攻めにいく気持ちをもつことが大切ということも分かった。サーブは入らないと始まらないけど、強いサーブをしっかりと自分で確実に入れられるようになりたいと思った。

1年 大原舞桜

私は鹿宮大会を通して様々なことを学ぶことができました。試合に出場することはできませんでしたが、普段試合することのないチームのプレイを見ることで、今後の自分のプレイにつながられました。このような経験ができ、結果が残せたことも顧問や副顧問の先生、ご指導して下さった教頭先生、ご支援して下さった他の先生方、保護者の方々のご協力あってのことだと思うので、これからも感謝の気持ちを忘れず、部活に励んでいき

たいと思います。

1年 興栢珠奈

私は試合に出ることはできませんでしたが、ベンチで声を出し、先輩達と一緒に一生懸命、1点1点を喜んで楽しむことができました。今回の試合では他県との試合で学ぶことが多くありました。これからのことに生かしたいと思います。

1年 甲斐若菜

自分は試合に出ることはできませんでしたが、ベンチで大きな声を出して応援することを頑張りました。自分はこの試合で思ったことは1点の重要さです。1点は取れたけど、次のボールを落としてしまい、相手がマッチポイントになることが何回かありました。自分はこれからの練習でできるだけボールを落とさないようにし、試合でボールを落とすことができるだけ少なくなるようにしたいと思いました。

1年 飯干愛奈

私が試合を振り返って思ったことは、試合の時の1点の重さです。他のチームが試合をしているところを見て、私はどのチームも必死にボールをつないで、相手のコートに返している姿を見ました。そして1点をとったとき、笑顔でものすごく喜んでいる姿も見ました。なので、練習でもボールがコートに落ちるまで全力で追いかけて、ボールをつなげるようにしたいと思いました。一つ一つの練習も一生懸命ボールをつないでいけるような選手になりたいです。

1年 吉永理乃

私は試合に出ることができませんでしたが、一生懸命声を出して応援しました。それぞれの県のベスト8がそろっていたので、どのチームも強くレシーブの仕方、コートの中での動き方など、勉強になることがたくさんありました。今回私はユニフォームをもらえず悔しい思いをしたので学んだことを生かし、もっとうまくなりたいです。

1年 原田紗和寧

私は鹿宮大会を通して、たくさんの方のことを学ぶことができました。今大会はベンチに入ることができませんでしたが、鹿児島県のチームのプレイを外から見ている中で、参考になるプレイがたくさんあったと思うので、今後に生かせるよう頑張りたいと思います。また、この大会に参加することができ、結果を残すことができたのはチームの努力もありますが、顧問の先生や副顧問の先生、教頭先生のご指導、保護者の方々の支えがあったからこそだと思うので、これからも感謝の気持ちを忘れず、日々の部活動に取り組もうと思います。